

## 平成 29 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ I 講座・教授
氏名 Name	貴志 雅之
専門分野 Academic Field	アメリカ演劇

主たる研究テーマ Principal Research Subject	アメリカ演劇の政治文化研究—ポストコロニアリズム・小説と演劇のインターフェイス・幸福の追求
<p>本年度は当初の研究計画の 3 つの研究項目に新たに 2 つを加え、合計 5 つの研究成果を発表した。</p> <p>(1) ポストコロニアル・アメリカ演劇としてのスーザン＝ロリ・パークス研究の成果を「解剖と越境——Parks 劇におけるポストコロニアル・スペクタクルとしての身体」と題して日本英文学会第 89 回大会シンポジウム「ポスト・コロニアリズム以後の演劇」（2017 年 5 月 21 日、静岡大学静岡キャンパス）で発表。(2) 同研究をさらに展開した論考「解剖と越境——パークス劇におけるポストコロニアル・スペクタクルとしての身体」を『アメリカ演劇 28・29 号』（日本アメリカ演劇学会、2018 年 3 月）で発表。(3) 日本アメリカ演劇学会第 7 回大会で自身が企画・司会を務めたシンポジウム「劇作する小説家ヘンリー・ジェイムズ——小説と演劇のインターフェイス」（2017 年 8 月 30 日、広島経済大学立町キャンパス）で、ヘンリー・ジェイムズの劇作についての研究成果を「ヘンリー・ジェイムズ、劇作の到達点とその真価——<i>The Saloon</i> と <i>The Outcry</i> をめぐって」と題して発表。(4) 日本アメリカ文学会関西支部第 60 回支部大会シンポジウム「不寛容な時代の愛—アメリカ文学における抒情の系譜」（2016 年 12 月 3 日、京都学園大学）で発表した研究をさらに展開した論考「ユージーン・オニール、憐憫のリリシズム——『夜への長い旅路』を巡って」を大阪大学『英米研究』第 42 号（大阪大学英米学会、2018 年 3 月）で発表。そして、(5) 編著『アメリカ文学における幸福の追求とその行方』を 2018 年 2 月に金星堂より刊行した。同書で、「序」、「あとがき」を執筆するとともに、エドワード・オールビー作品に関する幸福の追求に関する論考「タブーを犯した成功者——『山羊—シルヴィアってだれ？』における幸福の追求と破壊」を発表した。</p>	